

第164回教育研究評議会議事録

I 日時 平成30年6月21日(木) 14:00~15:35

II 出席者 評議員 永田、清水(諭)、木越、金保、BENTON、石野、稲垣、佐藤、阿部、茂呂、竹中、大塚、坪井、大澤、田中、内山、中山、清水(美)、大倉、関根、綾部、荒川、西岡、和田、榎、中川、野中、青木、山田(雄)、齋藤、加藤(和)、松本、小川、西保、太田、溝上、五十嵐、池田、大根田、馬場、庄司、鈴木、守橋、梅村、花岡、山田(幸)、加賀、坪内

III 議題

[審議]

- 1 平成29事業年度にかかる業務の実績に関する報告書について ----- [審議1資料]
- 2 平成30年度「卓越大学院プログラム」について ----- [審議2資料]
- 3 寄附講座の設置期間の延長について ----- [審議3資料]
- 4 職員就業規則の一部改正について ----- [審議4資料]

[報告]

- 1 学生の懲戒について
- 2 第101回経営協議会報告について ----- [報告2資料]
- 3 創基151年筑波大学50周年記念基金への協力について ----- [報告3資料]
- 4 平成29年度卒業生・修了者の進路状況について ----- [報告4資料]
- 5 留学生等受入れに係る輸出管理事前手続きの徹底について ----- [報告5資料]
- 6 海外危機管理対応マニュアルについて ----- [報告6資料]
- 7 茨城県MICE誘致推進協議会への参加について ----- [報告7資料]
- 8 筑波大学省エネ・節電行動計画〔平成30年度〕について ----- [報告8資料]
- 9 筑波キャンパスCO2排出量・エネルギー使用量実績(平成30年度5月分)について [報告9資料]

IV 議事

[審議]

- 1 審議1資料に基づく審議の結果、原案どおり承認された。なお、学長から、大学院課程の定員未充足の課題解決のため、大学院の教育研究体制の充実に向けて緊張感を持って改革に取り組んでもらいたい旨発言があった。
- 2 審議2資料に基づく審議の結果、原案どおり承認された。なお、日本学術振興会への提出が求められている文書について、申請中の学位プログラムには専攻が参画するという記載となっているが、実質的には当該プログラムを担当する教員が責任を持って対応する意味である旨確認された。
- 3~4 審議3資料~同4資料に基づく審議の結果、それぞれ原案どおり承認された。

[報告]

- 1 学生の懲戒について、口頭により報告があった。
- 2~4 報告2資料~同4資料に基づき、それぞれ報告があった。
- 5 報告5資料に基づき、報告があった。なお、評議員から、「輸出管理」に代わる理解しやすい表現を検討してほしい旨発言があった。
- 6~9 報告6資料~同9資料に基づき、それぞれ報告があった。

以上